



2017年8月31日

外務大臣 河野 太郎 殿

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)  
代表 森 透

## 教育のためのグローバル・パートナーシップ (GPE) 増資会合についてのご提案

2018年2月初旬に開かれる予定の第三回 GPE 増資誓約会合は、我が国の基礎教育分野へのコミットメントとリーダーシップを国際社会に示す絶好の機会です。つきましては、本会合について以下をご提案します。

- 1. GPE を日本政府の教育援助政策の中で、脆弱国含む低所得国、紛争及び災害影響国への初等教育支援のツールとして戦略的に位置付ける。**
- 2. 2018年2月初旬に開かれる予定の第三回 GPE 増資誓約会合にて、拠出増額を表明する。**

### 日本政府の教育分野における SDGs 達成へ向けた動き

2016年9月の国連総会において日本政府が発表した「平和と成長のための学びの戦略～学び合いを通じた質の高い教育の実現」は、「教育のためのグローバルパートナーシップ (GPE) を含む国際パートナーシップ、その他の国際的枠組みにおける効果的な資金動員と実施に係る議論に積極的に参加、貢献していく」と述べています。

また、本年7月18日にニューヨークの国連が開いた持続可能な開発目標 (SDGs) に関する自発的レビュー会合において、岸田外務大臣は「教育や保健などの分野で国際協力に取り組むため、2018年までに10億ドル規模の支出を行う」旨表明されました。SDGs 達成に向けた日本政府のこれらの取り組みを22の国際協力 NGO で構成されている教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) は歓迎します。

### 日本政府と GPE について

GPE は教育支援に特化した唯一のグローバルファンドです。日本政府は、これまで増資会合にて GPE への資金援助を行うだけでなく、アフリカ諸国やラオスにおいて JICA を通じた教育支援事業を GPE と連携して展開したり、最近ではチャドの緊急事態に対して GPE を通じた緊急期の教育支援を行ったりするなど、GPE にとって重要なパートナーとなっています。しかしながら、日本政府の2003年から2016年までの間の GPE への拠出金は、全ドナーによる拠出総額のわずか0.53%で、先進国ドナー22か国のうち17番目、G7 諸国のうち最も少ない額です<sup>1</sup>。

### 国際的な教育課題に対する我が国のコミットメントを内外に示す

日本の教育援助はサブセクターについては高等教育、モダリティーについては技術協力、対象国については中所得国に比較優位と実績があります。一方、GPE は初等教育、財政支援に比較優位があり、対象国はすべて脆弱国を含む低所得国です。そこで、GPE を日本の教育援助政策において脆弱国に対

する初等教育分野の財政支援のツールとして明確に位置づけ、GPE に積極的に貢献することを提案します。これによって、二国間援助と多国間援助である GPE とのすみわけ、分業が明確になります。

また、2016 年の世界人道サミットで設立が合意された Education Cannot Wait Fund は、現在、ユニセフが事務局を務めています。今後、GPE の一つのプログラムになる予定であり、日本が重視している緊急・人道支援における貢献の観点からも意義が高いと言えます。

今回の増資会合では、2018 年から 20 年の 3 年間で 20 億ドル以上（年間 6.5 億ドル）が誓約されることを、豪国の元首相のジュリア・ギラード氏が議長を務めている GPE 理事会は目指しています。2016 年の DAC 諸国の ODA 実績に占める日本のシェアは 第 4 位の 10.8% でしたので、20 億ドルの 10.8% にあたる 2 億 1,600 万ドル、年間 7,200 万ドル（約 79 億円）の拠出を表明されることを提案します。 GPE への拠出金増額の表明は、我が国の国際的な教育課題へのコミットメントとリーダーシップを国際社会に示す絶好の機会です。

末尾になりましたが、本会合のご成功を心より祈念しております。本状についてお問い合わせは、以下までお願いします。

竹内海人 JNNE 事務局次長

（公社）シャンティ国際ボランティア会（SVA）気付

電話：03-5360-1233（事務所）、FAX:03-5360-1220、Eメール：[takeuchi@sva.or.jp](mailto:takeuchi@sva.or.jp)

---

<sup>1</sup> GPE への拠出金累計額のうち英国が 20.1%、スペインが 8.1%、米国が 4.6%、カナダが 3.4%、仏国が 2.3%、独国が 1.6%、日本が 0.5%を占めている。